

発行日: 2025年4月18日

改訂日: 2025年4月18日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: JAPPYシー ルパテ JP-01W

会社名: 因幡電機産業株式会社

住所: 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-11-14

担当部門: 商品統括部 JAPPY部 開発課

電話番号: 06-4391-1990

FAX: 06-4391-1753

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 可燃性固体: 分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口): 分類できない

: 急性毒性(経皮): 分類できない

: 急性毒性(吸入:気体): 区分に該当しない

: 急性毒性(吸入:蒸気): 分類できない

: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト): 分類できない

: 皮膚腐食性／刺激性: 分類できない

: 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 分類できない

: 呼吸器感作性: 分類できない

: 皮膚感作性: 分類できない

: 生殖細胞変異原生: 分類できない

: 発がん性: 分類できない

: 生殖毒性: 分類できない

: 生殖毒性・授乳影響: 分類できない

: 特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

: 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

: 誤えん有害性: 区分に該当しない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性 短期(急性): 分類できない

: 水生環境有害性 長期(慢性): 分類できない

: オゾン層への有害性: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: ポリオレフィン樹脂パテ

成分名	%(wt)	CAS No.
オレフィン樹脂	10～15	非公開
無機質充填剤	75～85	非公開
添加剤等	7～10	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末消火器、泡消火器、炭酸ガス消火器
- 使ってはならない消火剤 : なし
- 消火方法 : 初期の火災には、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
大規模火災の場合は泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。
消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 消火を行うものの保護 : 適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。
可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 作業の際には、保護手袋、前掛け、保護マスク等を着用し、皮膚に付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に廃棄しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェスなどで拭き取る。付着物、廃棄物等は、廃棄物処理業者に委託するか、焼却処分する。
- 二次災害の防止策 : 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱上の注意
- 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に付けないこと。
眼及び皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。
取扱い後には手、顔等をよく洗う。
- 局所排気・全体換気 : 通気の良い作業場所を確保する。
密閉空間で作業する際は局所排気装置等を活用。
- 注意事項 : 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付ける。
- 保管
- 保管条件 : 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。
0℃以下での保管、寒冷地区での冬季屋外保管を避ける。
- 安全な包装材料 : 現行容器のままで保管する。

8. 暴露防止及び、保護措置

- 設備対策 : 密閉空間では局所排気装置を設置すること。
取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 換気条件が悪ければ保護マスク
- 眼の保護具 : 保護メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : ゴム手袋、長袖の着衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

状態	: 固形状
色	: ホワイト
臭気	: 僅かに油臭あり
融点・凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点	: オレフィン樹脂 200℃以上
可燃性	: 火をつけると燃焼する
爆発下限界及び爆発上限界	: 該当しない
引火点	: オレフィン樹脂 240℃以上
自然発火点	: 該当しない
分解温度	: データなし
pH	: 該当しない
動粘度率	: データなし
溶解度	: 水に不溶、トルエン・ヘキサンに懸濁分散する。
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 該当しない
蒸気圧	: データなし
密度(g/cm ³)	: 1.8～2.0
相対ガス密度	: 該当しない
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温・常圧、密閉状態であれば安定
化学的安定性	: 通常取り扱いであれば安定
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
接触混合禁止物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 燃焼すると有害ガス(二酸化炭素、一酸化炭素)が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: 既知成分は、すべて区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
経皮	: 既知成分は、すべて区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
吸入: 気体	: 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。
吸入: 蒸気	: 既知成分は、すべて区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
吸入: 粉じん、ミスト	: 既知成分は、すべて区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
皮膚腐食性／刺激性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
呼吸器感作性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
皮膚感作性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。

生殖細胞変異原性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
発がん性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
生殖毒性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
生殖毒性・授乳影響	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。
誤えん有害性	: 本製品は固形状であり 動粘度率 20.5mm ² /s以上であるため区分に該当しない。

* この製品での安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 既知成分の加算法による計算結果、濃度限界未満のため、区分に該当しない。ただし毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 既知成分の加算法による計算結果、濃度限界未満のため、区分に該当しない。ただし毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
汚染容器及び包装廃棄	: 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

注意事項	: 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	: 法令の基準に従い積載、運送を行う。
海上輸送	: 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	: 航空法の定めるところに従うこと。
国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
容器等級	: 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物, リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(2025年4月以降)

表示対象物質 : 非該当

通知対象物質 : 非該当

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物, リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(2026年4月以降)

表示対象物質 : 非該当

通知対象物質 : 非該当

がん原性物質(作業記録等の30年保存対象物質)

：非該当

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

: 非該当

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

: 非該当

特定化学物質等(特化則)

：非該当

有機溶剤等(有機則)

：非該当

変異原性が認められた化学物質

: 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

: 非該当

消防法

: 指定可燃物 可燃性固体類

毒物及び劇物取締法

：非該当

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。

また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。